

## 2. 県内ブドウ産地での観光農園に対する消費者の意向と期待（情報）

## [要約]

県内の消費者の観光農園利用に対する潜在需要は大きいですが、支出増には慎重である。県内の多くのブドウ産地は消費者の旅行エリア内にあるが、津山市を起点とすると、一部の地域が外れる。旅行エリア外の観光農園では、特に直売や加工体験等来園者の満足度を高める工夫が必要である。

研究室名	経営研究室	連絡先	086-955-0546
------	-------	-----	--------------

## [背景・ねらい]

今後の本県のブドウ産地では、消費者との交流をもとに観光農園の経営に関心を寄せる担い手が増えることが考えられるが、その取組みを産地の活性化に結びつけることが望まれる。そこで、県内の消費者の観光農園に対する意向を明らかにして、県内ブドウ産地における観光農園の今後の方向を検討する。

## [成果の概要・特徴]

1. 調査した県内消費者の約6割は今後の観光農園の利用を増やす意向にあり、観光農園の県内需要は拡大することが予想された。しかし、利用の経費は現状維持の意向が約6割を占め、増やしてもよいとする消費者は1/4程度にとどまったため、今後利用者の支出金額が大きく増加することは期待し難かった（図1）。
2. 消費者が日帰り旅行で観光農園を利用する場合の許容移動時間は、居住地や年代にかかわらず車で片道2時間以内が最も多く、平均104.6分であった（表1）。
3. GISを利用して、岡山市役所を起点にした消費者の日帰り旅行エリアに県内ブドウ産地を重ねると、多くの産地がエリア内にあった。一方、津山市役所を起点にした場合、岡山市や高梁市の一部の産地、及び井笠地域の多くの産地がエリア外になった（図2）。  
そのため、これらの産地では、収穫体験以外に「遠出をしてでも行きたい」と思わせるようなサービスの付加が必要と考えられた。
4. 消費者が収穫体験にあわせてブドウ観光農園に期待するサービスは、ブドウの直接販売とジュース・ジャム等の加工体験が多かった。また、小さい子供のいる消費者で収穫期以外の栽培管理作業の体験への期待が大きかった（表2）。

## [成果の活用面・留意点]

1. ブドウの観光農園経営に関心を示す農家や産地に対して、行政や普及センターが取組みへの助言を行う際に、資料として利用できる。

[具体的データ]

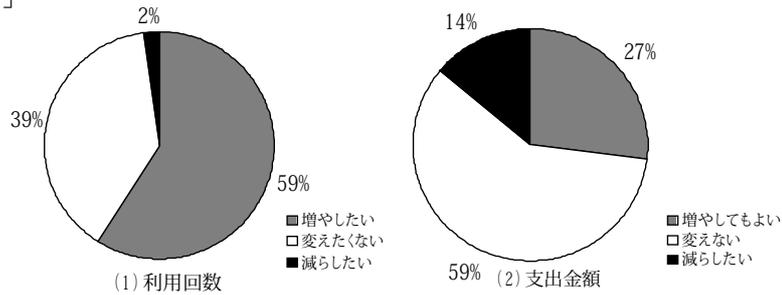


図1 今後の観光農園の利用意向

注)平成17年9月～10月に県内4か所で実施した消費者(587人)へのアンケート調査結果による。以下表1、2、図2も同じ。

表1 観光農園日帰り利用における片道許容時間

		平均片道許容時間	30分以内	1時間以内	1時間30分以内	2時間以内	2時間30分以内	3時間以内	3時間30分以内	4時間以内	4時間以上かけてよい
居住地	県南	104.2	1.6	24.7	22.8	38.4	3.3	7.7	0.5	0.5	0.5
	県北	102.9	2.2	20.1	24.5	43.1	6.5	2.9	0.7	-	-
	県外	129.4	-	12.5	18.8	49.9	-	6.3	-	-	12.5
年代	30歳未満	110.4	4.3	17.0	17.0	44.7	4.3	10.6	2.1	-	-
	30歳代	98.6	1.9	27.9	24.7	37.1	3.2	3.9	1.3	-	-
	40歳代	101.3	1.4	26.2	24.1	36.9	4.3	7.1	-	-	-
	50歳代	109.5	1.9	19.1	21.7	42.0	5.1	8.3	-	0.6	1.3
小学生以下の子供	いる	99.6	1.8	27.8	24.2	37.7	1.8	5.4	0.9	0.4	-
	いない	107.7	1.7	20.4	22.4	41.4	5.2	7.2	0.3	0.3	1.1

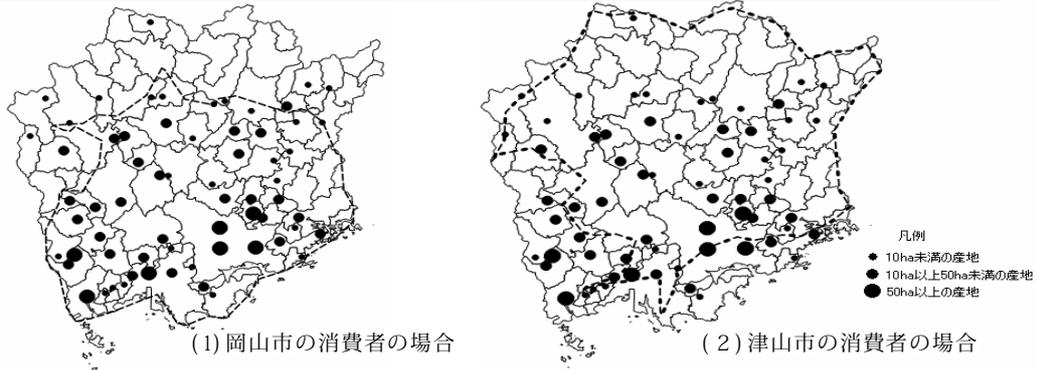


図2 県内消費者の車での日帰り旅行エリアとブドウ産地の重ね図

注)市町村区分は平成16年3月現在の旧市町村区分による。  
ブドウ産地は最寄りの農協の位置とした。  
旅行エリアは各市役所を起点に表1の県南、県北それぞれの平均片道許容時間範囲とした。

表2 ブドウ観光農園における収穫体験以外のサービスへの期待 単位:%

サービス内容	意向	小学生以下の子供	
		いる	いない
土産用等ブドウの直売	利用したい	68.6	84.9
	利用したくない	4.1	1.1
	わからない	27.3	14.0
管理作業の体験	したい	45.9	36.4
	したくない	28.2	37.3
	わからない	25.9	26.3
収穫物の加工体験	したい	78.2	69.5
	したくない	9.1	15.7
	わからない	12.7	14.8
ブドウ樹のオーナー制	利用したい	30.9	35.3
	利用したくない	25.5	30.0
	わからない	43.6	34.7

[その他]

試験研究課題名:担い手の多様化に対応したブドウ産地の複合型生産・販売体制の確立

予算区分:県単

研究期間:平成17~19年度